

# 不撓不屈

普天間中学校だより  
第9号  
令和3年1月8日

## 教育目標

平凡を非凡に努め、不撓不屈の精神で何事にも挑戦し、自己実現に向かう生徒の育成

# あけましておめでとうございませう 「高校受験は団体戦」「3学期は0学期」

令和3年（2021年）、新年あけましておめでとうございませう。保護者・地域の皆様方におかれましては、希望に満ちた令和3年の新春をお迎えのことと存じます。本年も本校の教育活動へ変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、学校は11日間の冬休みを無事に終え、5日（火）から元気に3学期が始まりました。始業式で生徒に話しました校長式辞を紹介いたします。

いよいよ今日から3学期が始まります。1・2年生は54日間、3年生にとっては44日間という短い3学期ですが、学年、あるいは、中学校生活のまとめとして大事な学期です。特に、3年生にとっては義務教育9年間の最終学期であり、進路決定、高校入試を控えた大切な時期でもあります。

「高校受験は団体戦」とも言われます。学級の仲間が、互いに教え合い、互いに補い合い、個人とし

ての高校受験ではなく、集団の力を結集して受験に望む。このことが、ひいては、個人の希望する高校に合格するためには大切である事を言い表した言葉です。まずは、3年生の皆さんの進路決定、志望する高校への合格を切に願っています。

一方、1・2年生においては、それぞれの学年を通しての集大成

の時期であり、進級するための準備期間でもあります。

この3学期を、「0学期」と言う人もいます。つまり、2年生にとつての3学期は「3年生の0学期」と言い換えることができます。「3学期から次の学年が始まっている」との意識と自覚を持って、学校生活を送って行くという決意の表れが「0学期」という表現になったと考えます。

部活動においても、春から頑張っても、地区予選を勝ち抜くことはできないでしょう。4月に新しく迎える新入生から見ると、「憧れの先輩」となれるように、しっかりと準備する「自分磨きの学期」にしてください。

今年が丑年。丑年は、「これから発展する前触れ、時いた種から芽が出る年」と言われています。

「今やるべきこと」を（牛のよろい）一つずつ確実に積み上げていくことが大切で、その地道な努力が成功体験、そして、希望する



笑門には福来たる（始業式午後）

将来につながると確信しています。

それでは、今年一年、皆さんの努力が実を結び、更なる成長の年になることを期待しています。

## 生徒代表あいさつ



### 1年代表（宮城摩和さん）

3学期は短いので、悔いのない充実した毎日をごしたいです。そして、遠足などのイベントもあるので、一生の思い出に残る実り豊かなものになるよう「挑戦と努力」をモットーに励んでいきます！

### 2年代表（与那嶺凌さん）

昨年はコロナの影響で日々の生活が大きく変わり、大変な1年でしたが、学習面でも、部活動でも意識を高く持ち、充実した時間を過ごすことができました。今年はいよいよ飛躍できるように、一人一人が高い目標を持って頑張ってください。

### 3年代表（崎崎辰朗さん）

10日後には各学校で推薦入試が

あり、3月の高校受験が近づいているのを実感します。今学期が中学の3年間を締めくくる最後の学期なので、友達やクラスメイトといっぱい語り合って、充実した時間を送りたいです。

## 生徒会代表（又吉洗之介さん）

何事にも一生懸命頑張れば、きっと楽しく、有意義な学校生活を送れると思いますので、目標達成が図れるような学期にしていきましょう。生徒会活動も充実しているように執行部も頑張ります！

## 手作りテールブル寄贈

12月9日（水）、本校の卒業生で、美来工科高校の照喜名優誠さん、大城裕範さんが来校し、「自分たちが実習で作ったウッドテールブルを使ってみてほしい。」と寄贈してくれました。卒業してもなお普天間中のことを想ってくれる先輩方の母校愛に感謝です。



※ご来校の際は中庭に見に来てください。